

保全活動日記

実施日
2021
1/10
(SUN)

時間
10:00-12:00

天気
晴れ

参加人数
31
人

信太山丘陵里山自然公園では、多様性の高い二次草原の復元をめざして環境保全活動に取り組んでいます。
今回は、西側エリアのツツジ低木林の草刈りと、草原のネザサの刈取りを行いました。

午前：西側エリアの草刈りなど ** 活動場所・内容 **



ツツジ林の草刈り 作業の風景

ツツジの丘の草刈り

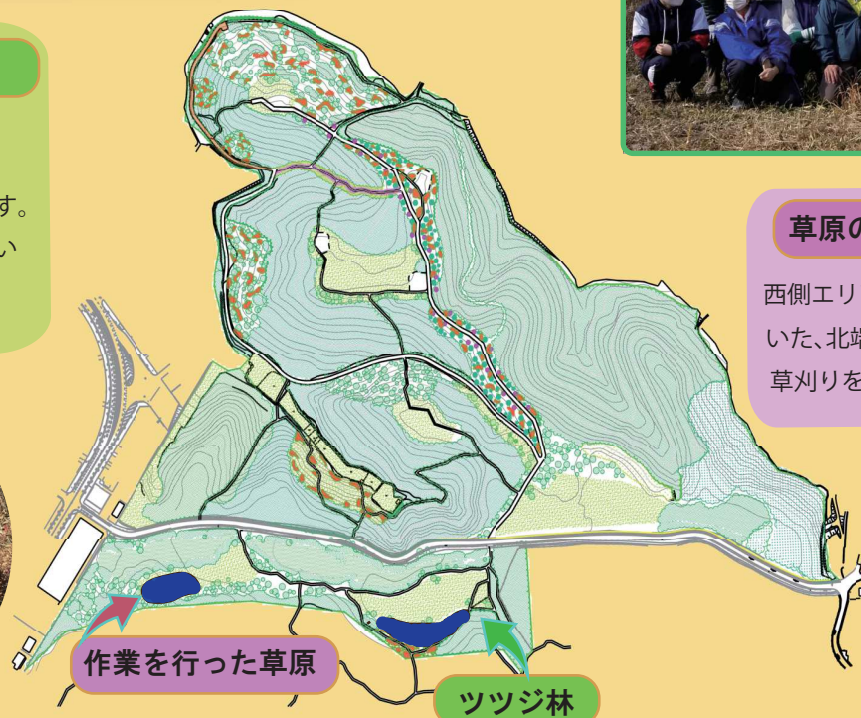
ツツジ低木林は、斜面にモチツツジやヤマツツジが点在して生育しています。ツツジの根元を傷つけないよう、気を付けて作業を行いました。



ツツジ林の根元は、カマや手バサミを使って丁寧に作業します。



刈取った草はレーキで集草します。



草原の草刈り

西側エリアで残っていた、北端部の草原の草刈りを行いました。





園路の柵づくり

環境保全活動ミーティングでは、西側草原エリアにおいて春から秋にかけて小さな花が咲く山野草等を眺めて楽しめるよう、園路づくりを行うことにしました。今回は杭とロープを使って、園路沿いの柵（約 30 メートルの区間）をつくりました。



杭の素材は、丘陵地の自然の景観に合った木杭がふさわしいとの意見が多数を占めました。

木杭をつなぐロープは、「まき結び」という方法で結びつけました。



「まき結び」：
引っ張れば引っ張るほど締まるのが特徴です。杭にロープを巻きつけるときに便利です。



「まき結び」は、ガールスカウト大阪府第 28 団のみなさんを講師に招いて実施した、ロープワーク講習会で習得しました。（2019 年 1 月）ありがとうございました。



木杭を 5 本、鉄ピンを 5 本それぞれ 70 cm の高さになるよう打ち込みました。

作業時間：木杭約 20 分
鉄ピン約 10 分



▼「信太山丘陵里山自然公園」についての詳しい情報は、市のホームページをご覧ください。

以下のワードで検索 /

信太山丘陵里山自然公園

検索



◀ QR コードで読み取り

湿地補修の確認

写真はかつてカスミサンショウウオの卵のうが確認された湿地です。現在、谷筋に湿地の水が漏れてしまい、産卵の場となるような環境ではありません。



補修対象場所

カスミサンショウウオ

防水シート

そこで、産卵の場となる環境をつくるため、防水シートを張り付ける位置を現地確認しました。



環境保全活動ミーティング開催

環境保全活動後、活動場所でミーティングを行っています。今後の保全活動計画の検討や柵づくり、サインづくりなども行う予定です。

申込の必要はありません。ぜひご参加下さい。



信太山丘陵里山自然公園

新型コロナウイルス感染防止対策

- 三密（密閉、密集、密接）を避けること。
- 原則として、マスクを着用すること。ただし、熱中症対策に配慮し、「水分」をこまめにとり、「塩分」をほどよくとること。また、活動中に苦しくなった場合はマスクを外して活動するまたは休憩すること。
- 必ず軍手を着用し、活動前・後の必要に応じて、準備したアルコール等の除菌液・シートにより手の消毒を行うこと。
- 草刈機、カマ、剪定鋏などの道具や拡声器など、他の人が触れる可能性のある物には除菌シートにより消毒を行った後、再度使用するよう心掛けること。
- 新型コロナウイルス感染症の症状の疑いがある時、或いは体調がすぐれず、咳やくしゃみ、発熱がある時は活動に参加しないこと。